秋田県障がい者スポーツ指導者協議会

広報 チャレンジ！

令和２年３月31日発行
秋田県障がい者スポーツ指導者協議会
〒010-0922
秋田市旭北栄町１番５号
（秋田県障害者スポーツ協会内）
TEL 018-864-2750
FAX 018-874-9467
E-mail:shidousha@akita-sports.jp

※実技研修会の様子

※総会の様子

あいさつ

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会
副会長　進　藤　雄　一

今年度は、平成31年４月１日に31年度が幕を開け、翌月５月１日には令和が幕を開け、何か世の中全体が目まぐるしい速さで変化しているようなそんな時を過ごしておりました。

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

本来ならば日増しに春の日差しが心地よい時季、希望に満ち溢れる一年中で一番心がうきうきする筈なのに、年が明け年度末が近づき今年度も残すところわずかとなったころコロナウイルスによる感染症が世界中で、猛威を振るい何もかもが自粛、延期、中止といった事となってしまいました。

そんな中、今年度に計画された事業につきましては会員の皆様、関係者の皆様のご努力ご協力を頂き計画通り実行することができました。

第２回の実技研修会は、今まで中央地区での開催ばかりでしたが初の試みとして県北大館市中央公民館（旧サンアビリティーズ大館）での開催となりました。

県北地区会員の皆様のご協力のもと沢山の参加を頂き卓球バレー、ボッチャの二つの競技の実技研修を盛会裏に終了することができました事、心より感謝申し上げます。

今後の実技研修も中央地区だけでの開催ではなく県北、県南での開催を計画し会員の皆様がより参加しやすくなるよう計画を立てていきたいと思います。

その際には、各地区の会員の皆様のご協力ご参加をよろしくお願い致します。

いよいよ待ちに待った2020東京オリンピック　パラリンピックの年となりましたが、日増しに感染が拡大している状況を考慮し開催が１年延期となりました。

コロナウイルス感染症が一日も早く終息することを願うばかりです。

会員の皆様方におかれましてもご自身の健康また、事業等開催の折にはご参加頂きました皆さんの健康、安全には特段のご配慮をよろしくお願い致します。

新年度も会員の皆様の強力なお力添えを頂き、障害者スポーツの発展に寄与してまいりたいと思います。

報告

事務局だより

事務局長　佐　藤　涼　子（秋田市）

今年度も多くの方たちのお力を拝借しながら、事業計画はほぼ終了することが出来ました。当協議会の活動に対する皆様のご理解とご協力に厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も当協議会では障がい者スポーツ指導員のスキルアップを図り、障がい者スポーツの普及・振興に寄与することを目的とし、年２回の実技研修会の実施、各障害者団体へ指導員の派遣、研修会の周知など研修の場、活動の場を情報提供させて頂きました。

今年度の主な事業として、元号が令和となった５月、総会の開催でした。事業報告、収支決算報告等議案１号、第２号として審議がおこなわれ承認されました。

総会終了後は元年度･第１回実技研修会が開催され内容は１部:講話「障害とスポーツ」、２部「シナプソロジー」？　聞いたときはどんなスポーツ？それは「２つのことを同時に行う」「左右で違う動きをする」といった普段慣れない動きで脳を適度に混乱させ、認知機能を向上させることを目的としたプログラムでした。慣れるまでなかなか難しく大変でしたが、笑いとコミュニケーションが取れ楽しい内容でした。脳を活性化させ、精神面では躁うつ感の改善なども期待されているとのことでした。

２回目の研修会は１１月２３日､開催地を中央から初めて県北（大館市）で行われました。

参加人数は予想よりはるかに多く、スタッフにとって喜ばしい事でした。

研修内容は｢卓球バレーとボッチャ｣について｢競技方法と審判について｣指導を受けました。卓球バレーは大館市の愛好会の方たち６名参加して頂き、和やかな雰囲気で行われました。

この度は、県北在住の会員の方たちが会場の手配、昼食の手配そしておもてなしを受け大変お世話になりました。

開催地の変更で事務局も慣れなく研修会で使用する用具の準備、買い足しそして運搬に戸惑いましたが参加者の笑顔とスタッフのチームワークで無事終了、秋田市内に着いたときは星空でした。県北の方たちは本当にお疲れ様でした。

新年度も会員の交流を深め、スキルアップを図りながら、研修内容もレベルアップし各研修会等を予定したいと思います。諸事情から年２回の貴重な実技研修会となっておりますので、多数ご参加いただきますようお願い致します。

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会役員（平成30・31年度）

会長	米山　隆	横手市	
副会長	佐藤　茂仁	秋田市	
副会長	進藤　雄一	秋田市	
副会長	橋本　高史	湯沢市	
事務局長	佐藤　涼子	秋田市	
理事	荻原　健一	秋田市	
理事	黒澤　英章	北秋田市	
理事	木村　等	北秋田市	
理事	阿部勢津子	横手市	
理事	谷内　祐子	秋田市	
理事	高橋　次男	秋田市	
理事	石黒　優	秋田市	
理事	佐藤　清俊	湯沢市	
理事	又井　誠	仙北郡	
監事	豊嶋　卯一	秋田市	
監事	及川まゆみ	横手市	
研修部長	佐藤　茂仁（副会長）		
指導部長	進藤　雄一（副会長）		
情報部長	橋本　高史（副会長）		

報告　東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会

秋田県障がい者スポーツ指導者協議会　橋　本　高　史（湯沢市）

令和元年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会が、青森県立八戸高等支援学校において令和２年２月８，９日の２日間の日程で開催されました。講師は日本ボッチャ協会の若松伸司さんと仙台市障がい者スポーツ協会の佐藤一樹さんでした。参加者は東北六県から 38 人で、秋田県からも５名の参加者がありました。令和３年度開催予定の三重とこわか大会から正式競技となるため、県代表の選考をどうしたらいいか悩んでいるという話が出ました。

一日目は「ボッチャ競技の体験」という内容で、体験の中からボッチャ競技の理解と指導方法を研修しました。

最初に「ボッチャの導入」で、Ａ４の紙の中にボールを止める練習から始まりました。ボッチャのボールは堅さが３種類あるものを使ったのですが、ボールにより転がり方やほかのボールへの絡み方の違いなどもよく分かりました。ボッチャが初めてという参加者の方もいたので、この導入は良かったと思います。

次に「ボッチャの体験」で、練習方法、戦術の確認、ゲームの流れや得点の数え方を学びました。最後に「規則（主な反則）」で、審判の役割も絡めてルールの細かいところも学びました。距離の具体的な測り方やコールの仕方などの質問もたくさん出ました。

いきなり大きな正式のコートでやると、初心者はボールをまだ自在に操れないため、最初は５ｍ程度のミニコートで行えば取り組みやすいことも教わりました。ミニコートでやるボッチャは白熱したゲームとなり、戦術も駆使できてとても面白かったです。

二日目は、最初は実際にチームを作り、正式のコートで競技を行い、審判も交代で体験する内容でした。自分でゲームを組み立てる体験からゲームの戦略を練ることができましたし、審判を行うことでスムーズなゲーム進行も体験することができました。

最後に、「全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技」の進行例についての講義と実際に審判の体験が行われました。全国障害者スポーツ大会ボッチャ競技のルールにのっとった正式な大会はまだ開催されておらず、来年度実際に開催すると細かい運用面の変更が検討されるだろうという話でした。全国大会のルールはパラリンピックのルールとはかなり違っており、秋の県予選まで再度確認する必要を感じました。私も初めて体験しましたが、細かいところが多々あり、間違えないように留意する点もたくさんありました。来年度から正式な県予選を開催する必要があり、公正なボッチャ競技運営になるようにさらに研鑽を重ねていきたいと思いました。２日間、まとめたボッチャの研修会は初めてでしたが、大変有意義な研修会となりました。

報告 東北ブロック若手障がい者スポーツ指導者研修会

令和元年度地域特別研修会
「東北ブロック若手障がい者スポーツ指導者研修会」に参加して

障がい者スポーツ指導員　佐　藤　凉　子（秋田市）

東北ブロック若手障がい者スポーツ指導者研修は令和２年１月18日、仙台市「元気フィールド仙台」を会場に大学生・専門学校生、障がい者スポーツ指導員を対象とし、41名の参加者のもと開催されました。

研修会のテーマ「視覚障害がある方への基本的なサポートを学び直し、スポーツや遊びを支援する方法を実践しながら考える」Ⅰ部は仙台市視覚障害者支援センターの主任相談員の方を講師に、研修内容は視覚障害の知識と移動等に際する基本的なサポート方法を学びました。「視覚に障害が有る人へのサポートをする時に心がけてほしい」この事について、また「行き過ぎた援助はかえって本人の心を傷つけてしまう場合がある、どんな援助、配慮を希望するか可能であれば本人に尋ねてみるのもよいのではないか」等分かりやすい内容で説明を受けました。

実践では、現在サウンドテーブルテニスクラブで活動しておられる当事者の立場から、競技場での誘導について、また日常生活の中から色々な場面での体験を交えお話を伺うことが出来ました。

２部ではリハビリテーション体育士を講師に、１部で学んだ「視覚障害がある方への基本的なサポート」をもとに、数種類の運動にアイマスクをして体験、その際サポートする方は、アイマスクした方へどのようなサポートをしたらよいか、グループで話し合い取り組みました。現在障がい者スポーツ指導員として活動している参加者の方は「学生さんと一緒に考えながら研修出来た事はとても意義ある内容となった」と話していました。

長年、視覚障がい者スポーツに携わってきましたが、今まで無意識に接していたこが多々あり反省しました。今回学んだことを心がけ今後の活動に活かしていきたいと思いました。

クラブ紹介　秋田県ボッチャ協会

こんにちは、秋田県ボッチャ協会です。当協会は 2019 年 4 月より組織を再編成し、みなさまのお力添えの元、40 名を超える会員のみなさまとともに協会活動を再開しております。

大館市がタイ王国ボッチャチームのホストタウンに決定したことを皮切りに、様々なイベントが増え、支援学校のボッチャ教室だけではなく、イオンでの体験イベントや地域活動、小中学校等、さまざまな場所でボッチャが取り上げられるようになりました。当協会としても審判研修会の開催や大会審判、体験会への講師派遣、第一回ボッチャ交流大会の開催等、精力的に活動してきました。また、2021 年に開催される第 21 回全国障害者スポーツ大会「三重とこわか大会」より、ボッチャが正式種目になることが発表されています。それに伴い、2020 年第 18 回秋田県障害者スポーツ大会からも競技種目として追加されることとなり、ますます秋田県におけるボッチャ活動が盛り上がるであろうと感じております。

私事になりますが、わたしが秋田県に A ターンしたのは 2 年前の 2018 年 3 月でした。2015 年の中級障がい者スポーツ指導員養成講習会でボッチャを知り、2017 年からボッチャに関わり始めました。コンディショニングスタッフとして関わっていくうちに、日本選手権に東北選手の出場が少ないこと、秋田県選手の出場がないこと、また、秋田に帰省してからも秋田におけるボッチャの認知度が低いことを知りました。

今、こうして秋田県内で様々な方がボッチャを知っていること、普及活動をしていること、他国の選手を迎え入れようとしていること、この一年の協会活動の中で得るものがたくさんあり、2020 年以降も絶やさぬ活動にしていかなければならないと強く感じております。

競技としてはもちろん、レクリエーションとしても楽しめるボッチャ。「ボッチャって知っていますか？」の問いに「知っているよ！」「聞いたことがあるよ！」という反応が増えてきはいますが、まだまだプレイヤー数が少ないのが現状です。障がい者スポーツ、パラリンピックスポーツというと距離を感じてしまう方も多くいらっしゃる中で、ボッチャというスポーツを通して壁を壊せたら、と思います。「障害者スポーツから生涯のスポーツへ」、当協会と一緒にみなさんでボッチャの輪を広げていきましょう！

現在、県内では二つの団体が活動しております。ぜひ、気軽にご参加ください。

＊全脊連ボッチャクラブ　毎月第一、三土曜日　10：00 ～ 15：00

＊ Fire Throw　毎月第二土曜日　13：30 ～ 16：00

※日程変更している場合がありますので、参加希望の方は協会にご連絡いただければと思います。

【連絡先】

《秋田県ボッチャ協会　事務局》
〒 010-0922
秋田県秋田市旭北栄町 1 － 5　全脊連秋田県支部内
TEL/FAX：018 － 896 － 7750

《秋田県ボッチャ協会事務局長　鈴木　郁美》
TEL：080 － 1655 － 3393
Mail：piyo2_buu@yahoo.co.jp

お　知　ら　せ

トレーナー部　佐　藤　理枝子（秋田市）

☆トレーナー部会の発足について☆

昨年度より東北ブロック障がい者スポーツ連絡協議会の中に新しくトレーナー部会が立ち上がりました。

トレーナー部会には、日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツトレーナーの資格を有する者が所属しております。（トレーナー制度は 2008 年から開始、現在全国に 200 名程度認定）自身を含めた秋田県内２名のトレーナーは理学療法士の資格も有しており、東京 2020 パラリンピック本大会において医療スタッフとして活動する予定となっております。

障がい者スポーツトレーナーは、障がいを持つ方々がスポーツを安全に行えるよう専門の知識と技術を持ってリスク管理をすること、アスリートの競技力維持・向上の支援をするとともに、健康増進・社会参加の一手段として日常的に誰もがスポーツに取り組める環境を、障がい者スポーツ指導員・コーチ・ドクターの方々とともに整備する役割を担います。

今後はトレーナー部会員として、既存の３事業部（事業部・広報部・研修部）の方々と連携を図りながら、秋田県内での活動を進めていきたいと存じます。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

☆新会員について☆

令和元年初級障がい者スポーツ指導員養成講習会修了者のうち、次の６名が当協議会に入会して頂きました。

１．鈴木　貴之（横手市）２．平澤富貴子（秋田市）３．三浦伸二朗（北秋田市）
４．水沼　由香（大仙市）５．山本真由美（大館市）６．鈴木　真人（秋田市）

☆訃報のお知らせ☆

半田武好さん(能代市) 長らく理事としてご活躍いただきました。ご冥福をお祈りします。

令和元年度 年会費納入についてのお願い

令和元年度会費納入いただきました会員の皆様、ご協力ありがとうございました。会費は、会の運営に関わる費用として使用されるものです。未納の方で当協議会の振り込み用紙を紛失された会員の方は郵便局に備え付けの用紙でも納入出来ます。

納入先は次のとおりです。

新年度についても宜しくお願い致します。

納入先　秋田中央郵便局　口座番号　02210−7−94390
秋田県障害者スポーツ指導者協議会

編集後記

新しく令和の時代を迎えましたが、新型コロナウイルスの猛威に晒されています。３月初めからは小中高の臨時休校が要請され、卒業式や修了式も中止になったり、大幅に規模を縮小したりして対応しています。

新年度も予定どおりに開催できない行事があります。私たちの生活にも大きな影響が出始めています。一日も早く収束することを願っています。　（橋本）